

太子町には、創立当初の形を残したまま新たな施設として利用されたり、保存されている廃校校舎が数多くあります。明治時代に建てられた旧上岡小学校をはじめ、地元の方々の手により大切に保存されてきた木造校舎は、その本来の役目を終えた今なお、当時の面影を現在にとどめ、訪れた人々をノスタジックな時へと誘います。



旧上岡小学校



明治12年に創立され、平成13年に廃校になった木造の小学校校舎です。現在は土・日曜日、祝日に開校しているほか、ロケ地としても活用されており、たくさんのドラマや映画の撮影に利用されています。窓ガラスは全て昔のガラスで、備品もそのまま残されており、廃校当時の雰囲気をそのまま味わうことができます。平成26年に国登録有形文化財として登録されました。



- 1.教室から講堂へと続く木製の階段
- 2.時間が止まったような教室
- 3.教室だったものを改装した講堂
- 4.昔の学校そのままの板ガラス
- 5.桜の似合う小学校は、地域住民に活用されています。



Former Uwaoka Elementary School

Is a wooden school building which was founded in Meiji Era 12(1879) and stopped its operation in 2001. Now it is used as photo-shooting venue for many dramas and movies as well. You can enjoy the atmosphere of the old times with the same window glasses and the equipment back then. It was registered as a country registration tangible cultural property in the December 19, 2014.



悠久の旅へノスタルジックな学び舎 Nostalgic school in Daigomachi

旧黒沢中学校



昭和26年に建てられた、板張りの外観に白い窓枠が印象的な木造校舎です。昭和の風情を残す広々とした校庭と2階建ての校舎は、学校の原風景のようです。平成25年3月末に、最後の卒業生13人を送り出して廃校になりました。平成26年に国登録有形文化財として登録されました。

Former Kurosawa Junior High School

Is a wooden school building with boarded walls outside and impressive white window frames. It seems like a school original scenery from Showa Era with large school playground and second floored building. It was closed in March end of 2013 after sending off the 13 alumnus. It was registered as a country registration tangible cultural property in 2014.



- 1.木造のあたたかさを感じる教室
- 2.天井も壁も窓枠も木製
- 3.やわらかな光の入る廊下
- 4.広々とした校庭に建つ2階建ての校舎
- 5.木の温もりを感じさせる階段



旧初原小学校

旧初原小学校は明治6年創立、現校舎は昭和17年5月に完成したものです。平成7年3月に統合により閉校しましたが、木造校舎が保存・管理され、農村景観の保存やわら文化の伝承などを目的とした施設「初原ぼちの学校」として活用されています。平成30年に国登録有形文化財として登録されました。

Former Hatsuhara Elementary School

Its original building was founded in Meiji Era 6, and current one is completed in May 1942 and closed in March of 1995 due to the merge. However, the wooden building has been preserved, and now used as "Hatsuhara Bocchi School" which aims to secure agricultural scenery and to inherit Wara (straw) culture.



旧槇野地小学校(太子おやき学校)

明治7年創立の旧槇野地小学校は、過去へタイムスリップしたような、懐かしさのある木造校舎です。平成10年に、「太子おやき学校」と生まれ変わり活用されています。校舎内には、古くから太子に伝わるおやきの体験コーナー、特産品の紹介・販売コーナー、カフェなどがあります。平成30年に国登録有形文化財として登録されました。

Former Makinochi Elementary School

Is a very nostalgic wooden building founded in Meiji Era 7. It was re-born as "Daigo Oyaki School" in 1998. Inside the building has a experience zone of Oyaki- the food that Daigo Town has had from before-, souvenir introduction / sales zone and the cafeteria.



百段階でひなまつり

十二所神社の参道にある通称「百段階」をひな壇に見立て、約1000体のひな人形が飾りつけられます。

浅川のささら

江戸時代初期から続く奉納獅子舞で、県の無形民俗文化財に指定されている伝統行事です。熊野神社・真弓神社の遷宮に合わせて行われるため、20年に一度の開催です。



丘の上のマルシェ

100店舗を超える店舗が太子広域公園に出店し、農産物や陶芸品、絵本など手作りの商品が販売されるイベントです。おしゃれなお店がたくさん出店します。



奥久慈太子まつり

町内の各種団体による趣向を凝らした模擬店や、華やかなステージなど、郷土の魅力にあふれた楽しいイベントです。

太子町のお祭りは、豊かな実りと幸福を願って古くからこの地域に暮らす人々に受け継がれてきたお祭りとして、にぎわいと交流を生み出す新しいお祭りがあります。その日、町はたくさんの笑顔と活気にあふれます。

太子の祭

Festival of Daigo

Daigo Festivals have two kinds; the long-lasting ones wishing for the rich harvest and happiness inherited by locals and the new ones which generates prosperity and communication. On the festival day, the town is filled with many smiles and energy.



ぶんぬき祭

十二所神社の春季例大祭の余興として、4年に一度開催されます。祭りのみどころは、7台の屋台がお囃子を競演する「ぶんぬき」です。「ぶんぬき」とは、踏み抜く、打ち抜くという意味の茨城弁で、競演で相手の囃子の調子を乱すように、太鼓の皮を打ち抜くほど荒々しく打ち合うところからその名がつけました。



常陸国YOSAKOI祭り

平成16年から太子で開催されているイベントです。地元チームも含め、全国から100を超えるチームが集結し、3000人以上の踊り子がそれぞれ趣向を凝らした衣装で力強い踊りを披露し、会場は熱気と歓声に包まれます。



花火大会と灯籠流し

太子地藏尊祭礼の余興として開催されたのが始まりで、80年を超える歴史を持つ花火大会です。華麗に夜空を彩る花火と川面に幻想的な光を映しながら流れる灯籠流しが、太子の夏の風物詩となっています。



近津神社の中田植

下野宮近津神社で毎年夏至の日に豊作を祈願して行われる田植祭です。太鼓、笛、鼓の奏楽に合わせて田植唄が唄われる中、十余名の早乙女が、神田に苗を植え付けます。平成26年に町指定無形民俗文化財に指定されました。



OSJ奥久慈トレイルレース

袋田の滝と隣の常陸太田市にある竜神大吊橋を結ぶコースは、起伏に富んだ山の尾根や谷を突破する過酷なトレイルランニングレースです。



太子地藏尊祭礼

高さが9.6mもある大きなお地蔵様のお祭です。太子地藏尊は古くから「子安地蔵」として知られ穏やかな表情が特徴です。

太子町 イベントスケジュール

1月	・太子町二十歳のつどい ・消防出初め式
2月	・全国氷瀑俳句大会 ・茶の里ひなまつり(〜3月) ・太子町内ひなまつり「街なか飾り」 ・百段階でひなまつり
3月	・奥久慈湯の里太子マラソン大会
4月	・溪流釣り解禁 ・男体山山開き ・蒨神社祭礼 ・外大野しだれ桜祭り ・沓掛峠山桜花見会 ・西金つつじヶ丘 つつじ祭り
5月	・袋田の滝鯉とあゆのぼり ・八溝嶺神社の例祭 ・十二所神社 春季例大祭 ※4年に1度 ・常陸国YOSAKOI祭り
6月	・久慈川鮎釣り解禁 ・中田植(御田植祭) ・新茶収穫祭
7月	・フォレスパ太子「太子ビーチ」オープン
8月	・太子地藏尊祭礼 ・花火大会と灯籠流し ・茶の里夏まつり
9月	・丘の上のマルシェ ・いばらき都市緑化フェスティバル ・奥久慈大子りんご祭り
10月	・奥久慈太子まつり ・太子町芸術祭
11月	・佐原地区産業文化祭 ・茶の里公園 新そばまつり ・袋田の滝ライトアップ(〜1月)
12月	・太子広域公園 ハープリレーマラソン大会

DAIGO探検隊

大子の自然・文化・歴史を堪能せよ！

大子町には、観光を目的に多くの人々が訪れます。自然や歴史に感動体験できるスポット、ぶらり街かど探訪が楽しいスポットをご紹介します。

八溝山

茨城・福島・栃木の3県をまたがる八溝山は、標高1022mの県内最高峰の山です。落葉広葉樹の原生林と日本名水百選に選定された湧水群、珍しい植物や小動物と出会う登山道があります。

八溝川湧水群(金性水)

八溝五水(金性水・鉄水・龍毛水・白毛水・銀性水)は水戸光圀公が命名し、特に「金性水」を賞味したと伝えられています。



月居山

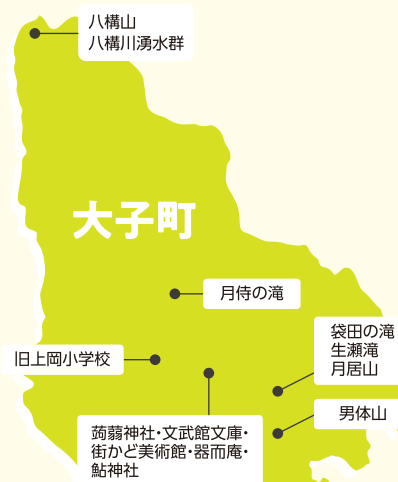
月居山は、日本三名瀑に数えられる袋田の滝の背後にそびえる二つの峰を持つ山です。登山コースや県北ロングトレイルのコースとしても整備されていて、名瀑だけではなく、観音堂や城跡、石仏群が楽しめます。

冬の自然現象 FRAZIL ICE

久慈川のシガ

厳冬期の久慈川には、「シガ」と呼ばれる氷の小片が無数に川面を流れる珍しい現象が発生します。

朝日を受けてキラキラと輝く美しさは幻想的で、冬ならではの風物詩です。



ぶらり街なか探検

鮎神社(水波女神社)

久慈川の水難除け、安全と鮎の豊漁を祈願して建立された神社です。「釣糸つりばり供養箱」を設け、釣りマナーの向上を図っています。水波女(みずはのめ)は、古来からの水神です。



器而庵[きじあん]

築100年以上の重厚な見世蔵を改装した、大子漆の器のお店です。良質の大子産漆を使用したお椀や皿など日常使いの器を販売しています。建物は、平成28年に国登録有形文化財として登録されました。



蒨薊神社

蒨薊の加工法を開発して近世の蒨薊流通を大きく変え、現在の蒨薊業界の始祖となった中島藤右衛門翁を祀っています。蒨薊玉を粉にしたことで、貯蔵や運搬が簡易になりました。



文武館文庫

文武館は、水戸藩に15校あった庶民の教育のための郷校の一つです。その文庫が今も保存されています。当時の文庫には、約4600冊の和書・漢書が納められていたそうです。昭和50年に町指定文化財として指定されました。



街かど美術館

大正6年に建てられた銀行を利用した美術館です。建物の内部には、昔の銀行の雰囲気が残っています。平成29年に国登録有形文化財として登録されました。



男体山

標高654メートルの男体山は、北側と東側は穏やかな傾斜、西側と南側は断崖絶壁で、その名のとおり男性的な景観です。登山道を上ると、山頂から久慈川の流れが一望できます。

